

2022年11月30日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

戸田市のご当地キャラの3Dデータを作成しNFT化して配信
ふるさと納税の返礼品としての利用を目的に、写真撮影が可能なAR環境も構築

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:柘植 一郎、本社:東京都港区、以下:CTC)は、戸田市(市長:菅原 文仁)がふるさと納税の返礼品の一部で利用するAR(Augmented Reality:拡張現実)環境を開発しました。AR環境では、戸田ヶ原の自然再生事業におけるキャラクター「とだみちゃん」の3Dデータを利用した写真撮影が可能となります。返礼品の3DデータはNFT(Non-Fungible Token:代替不可能なデータ)化しており、データ作成からNFT化、配信までをトータルにCTCが担いました。

近年、ふるさと納税では、返礼品として、地元の特産品に加え、現物提供ができない天然記念物や城などの文化財について、デジタル技術を活用した代替品の検討が進んでいます。特に、ブロックチェーンの技術でデータに資産価値を持たせるNFTの仕組みは、新たな地場産品を生み出す手段として、ふるさと納税での活用に注目が集まっています。

今回、戸田市がふるさと納税の返礼品としてデジタルデータを活用するにあたり、CTCは、戸田市のキャラクター「とだみちゃん」の様々なポーズをデザインした3Dデータを作成しました。返礼品として提供される3Dデータは、NFTに加工しており、戸田市からの正式な返礼品であることが証明されています。AR環境では、スマートフォンやタブレットを用いて、場所や時期に応じて「とだみちゃん」と一緒に写真撮影を楽しむことができます。寄付をしていなくても、特定の「とだみちゃん」の3DデータはAR環境で撮影可能です。

AR環境は、ゲームの映像や音を処理するツールを使ってCTCが独自に開発したもので、Webブラウザ上で3Dデータの高速処理を可能にする技術も採用し、利用者は専用のモバイルアプリを必要とせず、3Dデータの映像を閲覧することができます。

CTCは今後も、メタバースやAIのデジタル技術を活用したサービスを開発し、地域社会の課題解決や活性化に貢献していきます。

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
広報部

E-mailpress@ctc-g.co.jp